

番外編『ちょっとまねしてみませんか』

各地域で様々な取り組みが行われています。先生方も楽しく連携・交流して、子どもの育ちの共通理解に役立っています。子どもに関わる大人の力を合わせた取り組みです。

できそうなところから、まねしてみませんか？

年中児・年長児保護者への校長講話

入学前の1年を見通しをもって過ごせるよう、考えました。

1年生の授業参観後、子どもの自立、子育てなどについて学区内の年中児の保護者を対象に校長先生がお話しました。

年長児保護者への講話を行っているところもあります。

地域でNOテレビデー

地域で取り組むことは、子どもがよく口にする「みんなやっている」状態です。

地域力を活用し、よい生活習慣を身につけようとしています。



給食交流

保育園・幼稚園と小学校の試食を含む給食指導参観は各地域で行われているところです。

近隣の保育園・幼稚園の先生同士も、お互いの給食指導の様子、子どもたちの給食の食べ方等、試食しながら参観しました。

生涯にわたって必要な基本的な食育、マナー等、園ではどのように指導したらいいのか学びあう機会になりました。

交流・連携 例えば、こんな

保育園・幼稚園の交流

いい活動は進化して継続しています。

交流がはじまり2年目。副園長先生もプールに入ったりゲームに混ざったりし、子どもも大人も楽しみました。

学校だより園だより交換

学校だよりや園だよりを交換し、お互いの行事や様子を知ることによって役立っています。

日々行ったり来たりはできませんが、つながっている感じがします。

中学生の職場体験

赤ちゃんや小さい子どもに触れ合う機会が少ないまま、我が子の子育てに奮闘しているお父さん、お母さんが多い世の中になってきたようです。

未来のお父さん、お母さんとして、働くことを学ぶ場として保育園や幼稚園での体験を組んでいます。

